



下津井中学校 HP
二次元コード

はばたき

校訓 自主・勤労・責任

倉敷市立下津井中学校
学校だより
令和4年9月12日
NO.14

修学旅行のお食事あれこれ

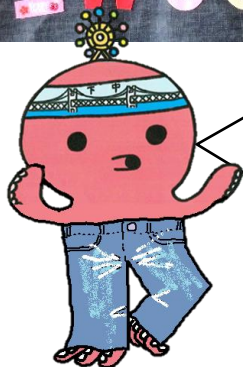
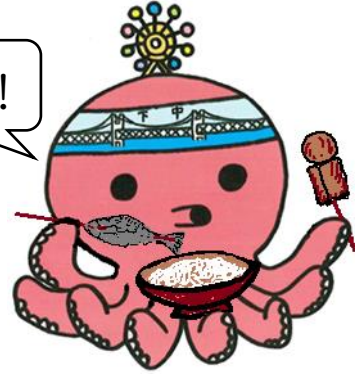
修学旅行中の食事はとても充実していた。まずは、「カツオの藁（わら）焼き」、自分で食べるカツオを自分で焼く。頭の高さまで上がる炎に腰が引ける人もいたが、倉敷のスーパーで売っているカツオのたたきとは比べられないほど美味かった。山盛りのシラスもご飯が進んだ。

一泊目「ホテル かずら橋」の食事は豪華。徳島名物の「でこまわし」とアユの串焼きが、満腹感を感じ始めた頃に配膳され、もう限界だあとと思ったとたん、冷たい蕎麦まで登場した。一番驚いたのは、次の日の朝食に蒸し豚があったこと、本当に贅沢な宿の食事でした。

修学旅行の食事といえば、本来ならばワイワイガヤガヤと賑やかな食事になるのだが、コロナのせいで黙々と食べることになった。大広間でみんな前を向いて食事していると、生徒のみんなの食事スタイルも様々であることに気付く。感心したのは、魚をととてもきれいに食べることができる人がいたこと。きっと幼いころから、魚を大切にいただくことをおうちの方から学んできたんだろうなと思った。意外だったのはおかわりする人が少ないことだ。もともと食が細いのか、遠慮しているのか、恥ずかしいのかはわからないけれど、現地でしか食べられないものをお腹いっぱい食べることも旅の魅力なのだが、それは大人になってからわかることなのかもしれない。もったいない贅沢な残食もけっこう見られた。

最終日の昼ご飯は、レオマワールド内で自由となった。1000円分の食事券をもらい好きなところでランチタイムを過ごしたようだ。先生たちが女子生徒に「ちゃんと食べた？」と質問したら、「うん、食べたよお。」の後のメニューで多かったのが1位「ポテト」、2位「かき氷」、3位「チュロス」といったところか。やはり、油で揚げたいわゆる「茶色系」が人気のようだった。私は、香川ならではの当地物を食べようと、うどん屋に入り、メニューを見まわし、迷った末に注文したのは「唐揚げ丼」だった。やはり茶色系の魅力には勝てなかった。

うまっ！



ジーンズがなければ、この児島の発展はなかったはず。そんな歴史も感じながら、金曜日まで、いつもと違う学校生活を楽しんでみようぜい！

SDジーンズ週間始まる！

今年度、初めて「SDジーンズ週間」をスタートさせました。玄関横には美術部のみなさんに夏休みから制作してもらっていた素敵なデニムの看板が飾られています。

教職員は雰囲気づくりのために一足先に金曜日からスタート。いつもとは違う姿に、先生方の新たな個性が感じられました。きっと、生徒のみなさんも何年も共に教室で過ごした仲間とは違うイメージが見られるはずです。思い切って、あなたの新たな一面を披露するチャンスにしてみませんか？